



市議会だより

芦別市議会ホームページ <https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/shisei/gikai/>



任期最後の定例市議会に臨む



議長動静

芦別市議会議員

田森 良隆

令和5年3月9日から24日までの16日間、第2回市議会（定例会）が開催され、令和5年度市政執行方針及び教育行政執行方針に対する代表質問、一般質問で芦別市が抱えている諸課題について議論を交わし、また、市から提出されました令和5年度各会計予算や条例等を審議し、24日に可決し閉会しました。

国は、5月8日からは感染症法上における新型コロナウイルスの位置づけを2類から5類に変更します。東京をはじめとします都会では、人の動きが活発になってきており、3月に開催されましたWBCでの侍ジャパンの応援では、合宿期間中から多くのファンがキャンプ地や試合球場を訪れ、経済効果をもたらしました。

しかし、芦別市をはじめ地方では、まだまだ、コロナ禍と同じ状況にあり、市内の飲食店は依然として厳しい状況にあります。また、物価高騰の影響もあり厳しい経営を強いられておりますことから、市民の皆様におかれましては、地域経済の活性化に向け社会活動を再開していただき、活気のある芦別になることを期待するところであります。

市民の皆様が、この議会だよりをご覧いただく頃には、市議会は4月23日に執行されました市議会議員選挙で当選された、新たな議員での議会となっております。今月開催の市議会（臨時会）におきまして、議長、副議長、各委員会の委員長・副委員長が選出され、新しい体制の下で市民の皆様が安心してこの芦別で生活できるように、市とともす少子高齢化や人口減少による課題、新総合庁舎の建設、地域経済の活性化など多くの重要な課題に取り組んでいただきたいと思います。

内容	2
◎3月定例会代表質問	3
◎3月定例会一般質問	4
◎3月定例会の議決結果	6
◎勇退議員のご挨拶	7
	8

3月定例会 代表質問

3月定例会 代表質問

市政執行方針及び教育行政
執行方針について

新星クラブ



新村 充 議員

空き家対策について

質問

令和4年度調査では、市内の空き家数が894件だった。現在資材価格の高騰と住宅需要の増加などにより、新築住宅の価格は上がり、中古住宅の需要も伸びている。本市の持ち家取得奨励事業においても中古住宅の助成件数は大幅に上がっており、需要と供給のマッチングが喫緊の課題と考えるが、対応策について伺う。

答弁

空き家バンクへの登録物件の収集を行い、情報充実に努めてまいります。

地域公共交通対策について

質問

住民の予約を受け運行するデマンドバスが全国の自治体に浸透してきている。本年4月、新たに地域公共交通計画が策定されるが、デマンドバスを含めた

最適な公共交通のあり方を考える必要があるのではないかと。また、野花南地域など、住宅が散在している農村地域の高齢者の利便性を上げていく必要があると考えるが、高齢者など交通弱者の足をどう確保していくのか伺う。

最

出産祝い品贈呈事業について

質問

現在本市では出産祝い品として、10万円分のどんぶり券を贈呈している。子育て家庭には有効な支援だと思いが、金銭的な支援は使ってしまったら終わりで、何も残らない。そこで木のおもちゃを出産祝い品に追加していく考えについて伺う。

水田活用の直接支払交付金の制度見直しについて

質問

木のおもちゃを出産祝い品として贈呈することは、木のぬくもりや大切さを学ぶことで木育にもつながることから、関係部署での協議を進めてまいります。

答弁

完全に畑地化すれば土地評価額が下落し、交付金がなくなれば経営が続けられなくなる農家が出てくると考える。今回

畑地化への転換により今後の農業経営や農地の利用集積に加え、担い手の確保など多大な影響を及ぼすことが懸念され

質問

有害鳥獣対策について

エゾシカの生息数を減少させることが喫緊の課題と思いが、山奥の鹿より、農作物被害が顕著な場所での、田んぼや畑に出てくる鹿の捕獲を進められるように、農家や私有林管理者などと連携を図ることは可能か伺う。

質問

地域で捕獲への理解をいただくことができれば連携は可能であると考えておりますので、猟友会が農家や私有地管理者及び地域の方と協議を行ってまいりたいと考えております。

答弁

飲食店の経営の安定と継続のための支援策について

新型コロナウイルス感染症拡大は収束してきてはいるものの、お客さんは戻ってきて

質問

独自の支援策を設ける考えは現時点では持ち合わせておりませんが、市として、市内消費が活性化されるよう環境づくりに努めてまいります。

質問

今すぐ戸別へ移り住むにはハードルが高いと考えるため、地方移住を検討している人に対し、実際に短期間住むことで土地の魅力を感じ、移住を検討してもらう制度、「お試し移住住宅」が必要と考える。お試し移住住宅を導入する意向はあるか伺う。

お話し移住住宅の整備

質問

は、今日的な需要の高まりからも有効と受け止めておりますが、まずは空き家の利活用について、一定程度整備が可能かどうかを含め、所有者等と協議してまいりたいと考えております。

答弁

教職員の働き方改革で要因の一つとされている。地方都市や中山間地域では地域移行を担う人材の確保が難しいという意見があがっている。本市では部活動改革検討

部活動の地域移行について

質問

部活指導が長時間労働の要因の一つとされている。地方都市や中山間地域では地域移行を担う人材の確保が難しいという意見があがっている。本市では部活動改革検討

委員会を組織し、検討を進めていくということだが、どのように進めていくのか伺う。

答弁

各学校の児童生徒、保護者への二一調査を行い、その上で、地域クラブ活動の運営団体・実施主体、地域人材の把握と人材確保、運営方針等の検討を進めてまいりたいと考えております。

政風会



榎坂 直紀 議員

空き家について

質問

空き家の調査内容や調査対象については、どこまでの実施を計画されているのか伺う。

答弁

空き家の実態調査については、市内全域を対象に3年に一度、地域の住宅事情を熟知している水道メーター検査員を調査員として行っているところであります。

また、調査の方法及び調査内容は、外観目視による建物の破損、劣化状態の確認のほか、建物や周辺の状況から管理の有無について調査表に記

入をし、まったく管理がされず危険な状態はAランク、管理不足で危険になる可能性がある状態はBランク、管理されていて問題が無い状態はCランクとして区分を行っており、調査員から判断が難しいと報告を受けた空き家等については、担当職員が調査をし、判断を行っております。

質問

特定空家になる可能性のある建物の維持管理の必要性や活用方法の周知をどのように考えているのか伺う。

答弁

空き家の維持管理の必要性や活用方法の周知は、特定空家等の発生を未然に防止するため重要と考えており、現在、空き家等に隣接する市民から建物の部分崩壊や落雪、敷地内の雑木の繁茂などの相談や要望がある場合は、空き家の所有者に対し、維持管理の必要性について文書と写真による情報提供と助言を行っているところであります。

また、空き家の活用方法については、広報あしべつや市外の所有者の方には文書による空き家バンクへの登録案内により活用されるよう周知に努めておりますが、活用が難しい建物もあることから、解体助成制度の案内も合わせて行っているところであります。

質問

農地付き空き家活用による定住促進の取り組みについて伺う。

答弁

本年4月から改正農地法の施行により、農地を取得する際の下限面積、2ヘクタール以上の要件が撤廃されるため、農村集落における離農後の廃屋化防止の観点から有効な対策となる可能性があるものと認識しておりますが、一方では、周辺農地の効率的な利用を確保するための利用調査が必要となることや、適正な農地管理が行われない場合の周辺農地への影響が懸念されるなどの課題も想定されるため、現時点では取り組む考えは持ち合わせておりませんが、今後、先例自治体の取り組みを研究してまいりたいと考えております。

不登校について

質問

不登校対策について伺う。

答弁

各学校においては、長期の欠席により不登校となる以前の登校しづりなど、初期段階から保護者と連絡を取り、学校全体で情報を共有するなど、組織的な対応を図っているところであります。その際、児童生徒の状況や保護者の要望などを踏まえ、必要に応じてスクールカウンセラーや家庭児童相談員による相談を行って対応を図っております。

また、学級の教室には入れないものの、登校できるといふ児童生徒に対しては、各学校において相談室などでの学習を行っているほか、学校に登校できない児童生徒に対しては、担任を中心として保護者と連携して児童生徒との連絡を取りながら、対応を図っているところであります。さらに、登校できずに家に閉じこもりがちな児童生徒に対しては、学校生活への復帰を支援するために教育委員会が設置している適応指導教室において、児童生徒を受け入れるなどの対応を図っております。

フリースクールについては、不登校の児童生徒にとつて学校とは別に、学習や体験ができる機会が確保され、社会性を身に付け、大きく成長できる場の一つになるものと考えており、フリースクールとも連携し、多様な教育機会を確保することも必要であると考えておりますが、現状においては、フリースクールに通う保護者への経済的支援やフリースクールに対する助成の創設までの考えは持ち合わせてはいないところであります。



3月定例会 一般質問

市政執行方針及び教育行政執行方針について

公明党



松尾 達矢 議員

新型コロナウイルス5類への移行について

5類後の生活について
伺う。

北海道との連携を密にし
ながら、適宜、情報の発信を含め、市民の皆様
に不安や混乱を招かぬよう努めてまいります。

旭川方面工事の進捗と
完成予想時期を伺う。

工事進捗率は事業費べ
ースで15%と伺っており
ますが、現段階における未開通区間の完成予想時期については、示されていない
ところがあります。

在宅医療の充実について

訪問看護利用の条件に
ついて伺う。

主治医の訪問看護が必
要と認められた方。要支援、要介護の方はケアマネージャーが作成するケアプランに訪問看護サービスの利用が位置付けられていることが必要になります。

中空知医療連携でモバ
イルクリニック等の検討
について伺う。

市内の医療機関での取
り組みを研究してまいり
ますとともに、中空知地域医療構想調整会議などで提案してまいりたい
と考えております。

介護支援と買物を支
える取り組みの検討につ
いて伺う。

介護保険給付事業の通
所サービスにおける機能
訓練の一環として買物支援を実施し
ている事業所もあることから、一定
のニーズはあると思われま
すので、介護事業関係者等との意見交換を進
めてまいります。

切り目なく安心して子
育てを行えるよう本市で
もマイ保育園の導入が
できないものか
伺います。

マイ保育園について

切れ目なく安心して子
育てを行えるよう本市で
もマイ保育園の導入が
できないものか
伺います。

子どもセンターがマイ
保育園と同様の役割を担
っているところからも、導入につ
いての考えは持ち合わせておりま
せんが、子育て環境の整備推進に
向けましては、今後とも他市の先
進事例を参考とするなど、鋭意努
めてまいりたいと考えております。

本市も人口減少、そして少子化となかなか歯止めがかからない現状である。近隣市町を巻き込んだ婚活支援事業ができないか伺う。

近隣市町を巻き込んで
の婚活支援については、
本市への転入が期待される反面、転出されることも考えられること
から、近隣市町を巻き込んだ婚活支援事業を行う考えは持ち合わせては
ありませんが、市内団体等からの支援依頼があった場合には、可能な限り対応してまいります。

近隣市町を巻き込んで
の婚活支援については、
本市への転入が期待される反面、転出されることも考えられること
から、近隣市町を巻き込んだ婚活支援事業を行う考えは持ち合わせては
ありませんが、市内団体等からの支援依頼があった場合には、可能な限り対応してまいります。

給食を導入することに
ついて、過去に芦別高校と意見交換した経緯があります。改めて、学校給食の提供について意見交換してまいりたいと考えております。

芦別高校にも学校給食の提供ができないものか
伺う。

芦別高校にも学校給食の提供ができないものか
伺う。

給食を導入することに
ついて、過去に芦別高校と意見交換した経緯があります。改めて、学校給食の提供について意見交換してまいりたいと考えております。

給食を導入することに
ついて、過去に芦別高校と意見交換した経緯があります。改めて、学校給食の提供について意見交換してまいりたいと考えております。

日本共産党



松井 邦男 議員

岸田政権の安全保障政策の大転換に関して

昨年12月末岸田首相は安保政策の大転換を表明した。敵基地攻撃能力の保有とそのために5年間で43兆円の軍事費を決めた。相手国がミサイルを発射する前にたたく攻撃行使は、国際法で禁止されている先制攻撃であり、これまでの防衛政策の根幹の専守防衛から大きく逸脱する大問題。岸田首相の不都合な内容は明らかにしない国会答弁にマスコミから批判。平和都市宣言の市長の思いを伺う。

防衛費の大幅な増額や歴代政権が否定してきた敵基地攻撃能力の保有を認め、戦後の安保政策を大きく転換したことは専守防衛の原則から逸脱しないかの懸念を持たざるを得ません。

昨年市が自衛隊に提供した18歳と22歳の人数と名簿提供を望まない市民に配慮して申請のあった人には名簿提供しない

昨年市が自衛隊に提供した18歳と22歳の人数と名簿提供を望まない市民に配慮して申請のあった人には名簿提供しない

昨年市が自衛隊に提供した18歳と22歳の人数と名簿提供を望まない市民に配慮して申請のあった人には名簿提供しない

昨年市が自衛隊に提供した18歳と22歳の人数と名簿提供を望まない市民に配慮して申請のあった人には名簿提供しない

自治体があるが、芦別でも除外申請の制度の考えを伺う。

答弁

名簿提供は18歳が68人、22歳が69人と合計1237人。個人情報提供除外については札幌市等を参考に新年度から、広報あしべつに加え、市の公式ホームページ、公式LINEで周知を図ってまいります。

パートナーシップ制度について

質問

道は、新年度から道営住宅への同性カップルの入居を認めますが、入居の要件に自治体が認めるパートナーシップ宣誓受領証の発行を受けたものとしている。受領証発行は岩見沢市のほか深川市でも、市において前向きな検討を伺う。

答弁

パートナーシップ制度が、全国、全道に普及しているも、配偶者に準じた行政対応が図れないか、他市の情報収集を含め検討してまいります。

国保税均等割の子ども負担軽減について

質問

子育て支援で、国保税均等割の子ども負担軽減の前向きな検討を伺う。

答弁

高校生まで軽減した場合、対象は138人で、軽減額は114万円。軽減、免除の考えは持ち合わせておりません。

インボイス(適格請求書)について

質問

インボイスを発行しない零細事業者や個人事業者を、市の公共調達、公共事業から排除しないよう求めるが考えを伺う。

答弁

市の発注する工事、委託業務、物品調達などの資格登録でインボイス対応の有無を登録要件としておらず、排除する考えは持ち合わせておりません。

水田活用交付金見直し問題について

質問

芦別のような中山間地帯での見直しは、芦別農業の死活に係わる問題。芦別での影響を伺う。

答弁

多大な影響を及ぼすことが懸念され、対応策を協議してまいります。(影響額は2億円余りと見込まれます)

無所属



若松 市政 議員

農業の振興について

質問

ウクライナ侵攻による世界経済低迷の中で農業

生産者に対する物価高騰対策及び農産物への積極的アピール方法を伺う。

答弁

諸物価動向等を注視しJA等の農業関係団体と情報交換等を行いながら対応を図っていきたく考えております。

質問

アピール方法については芦別観光協会等と連携を図りながら観光専用ホームページ等によるPR、市内外で開催されるイベントや物産展等へ出店協力を行う等の取組を後押ししたいと考えております。

地域公共交通について

質問

芦別・新城線試験運行の3年間契約の見直し及び市民が柔軟に参加、協議できる場を設けることについて伺う。

答弁

この路線運行は旭川市との連携による共同事業であるほか本市民間運行事業者との3年間契約により実施し、令和6年10月からの対応については、委託料等を含め協議することとなっております。

質問

市民が柔軟に参加・協議できる公共交通のあり方を考える場を設けることについては、地域公共交通会議での意見を踏まえつつ、まちづくり懇談会での意見を参考にしながら各地域に適したあり方を考えてまいります。

新総合庁舎建設について

質問

市民を納得させる新総合庁舎のあり方を示すのはいつ頃になるのか伺う。

答弁

令和5年度から庁舎建設基金への積み立てを1億5千万円に増額したところであり、今議会中の新総合庁舎整備特別委員会でスケジュールを示し、まちづくり懇談会や市民説明会等を通じて意見をいただきながら各種計画に反映させ市民の皆様へお示ししてまいります。

市立芦別病院について

質問

市立芦別病院の月平均入院患者数、中空知医療圏における再編・統合に向けた協議の経過と内容及び民間の医師減少対策について伺う。

答弁

市立芦別病院の月平均入院患者数は令和4年4月から令和5年2月までは一般病床で44人、療養病床で24人の計68人となっております。

中空知地域医療構想調整会議がコロナ禍の影響で協議は進んでいない状況ですが、再開の折は協議が推進されるものと考えております。

市立芦別病院の維持・存続のため、常勤医師の確保や外来診療の充実を

図るとともに、開業医誘致に関しての協議をさせていただきながらその取組に向けて進めたいと考えております。

質問

令和4年度全国学力・学習状況調査質問の1日当たりの勉強時間及び4時間以上テレビゲームをしている割合についての所感を伺う。

答弁

今回の調査結果を踏まえ家庭学習が定着するよう家庭と連携し、規則正しい生活習慣を確立するためにも保護者の協力をいただきながら家庭での取組を進めていくよう考えております。

市民連合議員団



小川 政憲 議員

コンパクトな街づくりの推進について

質問

立地適正化計画に定められた居住誘導区域に含まれない三角山地区住民に関わる跨線橋の改修は考えないのか伺う。

答弁

三角山地区は土砂災害警戒区域の指定があるほ

か、団地内道路の幅が狭いなどの現状から居住区域には含まれないとしています。現時点で多額の事業費（10年前の試算で10億円）を要する跨線橋の改修は考えていませんが、今後も長寿命化を図りながら維持管理に努めてまいります。

質問

中心市街地への公共施設や事業者の誘導等による活性化にどのように取り組むのか、施策実施の第一歩となる具体的提案がなされていないが、それはいつになるのか伺う。

答弁

立地適正化計画の策定により将来のコンパクトな街の姿を明確化したことから、市民や事業者への周知を図り、理解を深めていただくよう取り組んでいきます。また、同計画は令和5年度からスタートしますが、中心市街地を含む都市機能増進施設（公共施設・医療機関・スーパーなど）が現状一定程度立地していることから、当面既存施設の維持に努め、区域内への事業者等の誘導対策は今後、商工会議所をはじめ関係事業者等と意見交換を行いながら、国の制度活用も視野に入れ、ソフト、ハード両面から具体的方策を検討したいと考えております。

学校制度の改革について

質問

小中一貫教育の現状での進行状況について伺う。

答弁

現状の小学校と中学校の枠組みを残したまま、校種や学年を超えた教育課程の編成や単元の組替えは行わず、義務教育9年間の接続や系統性を踏まえた教育活動を進めることとし、令和3年度から本格導入して、授業における板書、話し合い活動、振り返り活動、ICTの活用の4つを市内小中4校が統一して行う「芦別スタンダードの確立」に向けて取り組んでいるほか、生活習慣の確立、家庭学習の習慣化、学校規律の統一、乗り入れ授業の実施（中学校教員が小学校で教える）、小・中の教員相互による授業参観や合同研修の実施、ふるさと教育や職場体験、栽培活動を通してキャリア教育などを進めることにより「ふるさとに愛着を持つ子の育成」に成果が上がってきていると考えております。



議会をインターネットで生中継

本会議の様子を、動画配信サイトYouTube（ユーチューブ）で生中継いたします。

過去に開催された本会議、常任委員会、特別委員会も視聴することができますので、ぜひご覧ください。



「芦別市議会 YouTubeチャンネル」



3月定例会 議決結果

◆ 3月定例会の議決結果

3月9日、令和5年第2回市議会（定例会）が招集され、会期を24日までの16日間と定めて、令和5年度各会計予算、令和4年度各会計補正予算、条例制定・改正などが審議されました。議決結果は以下のとおりです。

■ 全員賛成の議案

議案	件名	結果
4年度補正予算	一般会計（第12号）	原案可決
〃	奨学資金特別会計（第1号）	原案可決
〃	国民健康保険特別会計（第2号）	原案可決
〃	下水道事業特別会計（第3号）	原案可決
〃	介護保険事業特別会計（第2号）	原案可決
〃	介護サービス事業特別会計（第2号）	原案可決
〃	病院事業会計（第3号）	原案可決
〃	水道事業会計（第2号）	原案可決
新年度予算	奨学資金特別会計	原案可決
〃	下水道事業特別会計	原案可決
〃	病院事業会計	原案可決
〃	水道事業会計	原案可決
新年度補正予算	病院事業会計（第1号）	原案可決
条例制定	市立病院医師就業支援金貸与条例	原案可決

議案	件名	結果
条例改正	市特別職の職員の給与に関する条例	原案可決
〃	国民健康保険条例	原案可決
〃	公衆浴場確保対策補助金交付条例	原案可決
〃	廃棄物の減量及び処理に関する条例	原案可決
〃	地域公共交通会議条例	原案可決
〃	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例等	原案可決
〃	議会委員会条例	原案可決
その他	土地の取得について	原案可決
報告案件	監査報告	報告済
〃	総務常任委員会調査結果	報告済
〃	社会産業常任委員会調査結果	報告済
〃	議会運営委員会調査結果	報告済
意見書	認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書	原案可決
〃	新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取り組みの強化を求める意見書	原案可決

■ 賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席、／：採決なし、議：議長

議案	件名	結果	大鎌	北村	樋坂	林	石川	新村	松井	若松	小川	松尾	田森
			光純	真	直紀	仲樹	洋一	充	邦男	市政	政憲	達矢	良隆
4年度補正予算	後期高齢者医療特別会計（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
新年度予算	一般会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
〃	国民健康保険特別会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
〃	介護保険事業特別会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
〃	後期高齢者医療特別会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
条例制定	個人情報の保護に関する法律施行条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
〃	高齢者等運転免許証自主返納支援金支給条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
〃	議会個人情報保護条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
新年度補正予算	一般会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議

市議会議員退任の挨拶



3期12年 小川政憲

4月30日をもちまして、市議会議員の任期が満了となり退任いたしました。平成23年3月11日未曾有の大災害とな

った「東日本大震災」の発生の余韻の中、4月17日、忘れもしない季節外れの吹雪（積雪35センチメートル）のなかで選挙戦の初日を迎えて以来12年間、二元代表制の一方として微力ながら市政進展のため、今日まで議員として働かせていただきました。この間、芦別振興公社（芦別温泉）の負債整理問題では、特別委員会の委員長として、本市の憲政史上初となる現職市長の任期途中での辞任問題を挟み、市民のご意見を聞く場を設けるなど問題の検証まで関わったこと、また、議会基本条例の制定、幅広い市民の声を聴

く催しなどいくつかの議会改革に主体的に関わることができたことは喜びとするところであります。議会は、職域代表の集まりではありませんが、本市の主要産業である現役農業者の代表、女性議員がゼロと言ったように、まちづくりを議論する上において、欠かすことのできない市民代表の参加が得られていないなど課題は山積しております。

課題解決に向けて、新任期の議員各位の検討を期待いたします。退任に当たり、ご支援、ご協力賜りました市民各位に対し、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。



議会の動き

令和5年2月上旬～令和5年4月下旬

【2月】

- 7日 議会派代表者会議
- 9日 全国市議会議長会第230回理事会・第114回評議員会合同会議(東京都)
- 13日 北海道後期高齢者医療広域連合議会第1回定例会(札幌市)
- 21日 総務常任委員会
- 22日 社会産業常任委員会
- 27日 中空知衛生施設組合議会第1回定例会(滝川市)
- 28日 中空知広域市町村圏組合議会第1回定例会(滝川市)
- " 空知教育センター組合議会第1回定例会(滝川市)
- " 滝川地区広域消防事務組合議会第1回定例会(滝川市)

【3月】

- 2日 議会派代表者会議
- " 議会運営委員会
- 9日～24日 第2回市議会(定例会)
- 9日 議会運営委員会
- " 議員全員協議会
- 15日 社会産業常任委員会
- " 新総合庁舎整備特別委員会
- " 行財政改革調査特別委員会
- 16日 総務常任委員会
- 17日～23日 予算審査特別委員会
- 20日 議会派代表者会議
- " 議会運営委員会
- 24日 広報広聴委員会

【4月】

- 10日 広報広聴委員会
- 14日 広報広聴委員会



5月臨時市議会のお知らせ

●日時 5月10日(水) 午前10時から

6月定例市議会のお知らせ

●会期 6月16日(金)～26日(月)

●日程 16日(金) 本会議(議案の提案)
 20日(火)・21日(水) 本会議(一般質問)
 22日(木)・23日(金) 常任委員会
 26日(月) 本会議(議案の議決)

※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります。

編集後記

元号が令和に変わって早いもので5年目を迎えました。また、本年は統一地方選挙が行われ新人議員も誕生し、日本の多くの議会では新たな出発がありました。統一地方選挙の意味を調べてみると、「4年に一度3月、4月、5月に全国の多くの地方公共団体で、議会の議員と長の任期が満了となります。多くの選挙が短期間に集中することから、選挙の期日を統一することで、投票の円滑かつ効率的な執行や、有権者の皆さまへの投票参加の効果的な呼びかけができるなどのメリットがあります。」とありました。多くの若者も含めた芦別市民が選挙に興味を持っていただければ良いですね。

また、芦別市は昨年来からの大雪に見舞われ、数多くの市民が除雪作業に追われたかと思えます。5月にもなると、大雪のことはすっかり忘れ、ポカポカと暖かい春から夏へと向かい、心も身体も軽く感じられるのではないのでしょうか。

芦別市議会広報広聴委員会

- 委員長 樋坂直紀
- 副委員長 松尾達矢
- 委員 大鎌光純、林伸樹、石川洋一、松井邦男、新村充

(松尾)